

残りの者
シャーアル

石巻祈りの家NEWS LETTER「シャーアル」(115号)
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号
TEL / 0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp

振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部 一
代表 / 阿部 一 副代表 / 菊池せい子



信仰：宗教改革500年目の今

- 先の地震や大雨での被害に手つかずの中で、またもや日本縦断の台風18号の襲撃で各地に大きな被害をもたらされました。皆さんの地区は被害がなかったでしょうか。
- 被災地東北も、復興途中にある沿岸地域が大雨と暴風で被害が生じたようで、今後の台風の季節が心配されます。
- 今年は、マルティン・ルターが長いローマカトリックの歴史の中で人間が作り上げてきた教会組織、聖書神学に入り込んだ人間の考えに、聖書の視点からの疑問をもってヴィッテンベルクの城教会の扉に「95箇条の提題」を公示し、宗教改革に火を付けてから丁度500年目に当たります。
- その中心は、その当時、告解の後求められる最終的に天国に入る前段「煉獄」で求められる罪の償いの不足分を献金で代替する贖宥券(免罪符)販売の問題であった。
- 彼は、救いは教皇の権威によるのではなく「神の一方的な恵み」であり、「信仰よってのみ与えられ」、それを保証しているのは「聖書のみ」であると抗議(protect)した。この信仰を受け入れた人達を通して宗教改革の火が燃え広がり、プロテスタント教会が生み出されて来ました。
- しかし、聖書のみを標榜し、「からだは一つ、御霊は一つです。あなたがたが召されたとき、召しのもたらした望みが一つであったのと同じです。主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つです」(エペソ4/4-5)と聖書で教えられながら、プロテスタント教会もその長い歴史の中で多くの教派に分かれ、様々な問題を生んできました。
- 聖書では、いわゆる地域教会(見える教会)はキリストを頭(かしら)として、神に呼び集められた様々な賜物を持つ人達が互いに相互依存し、組み合わせられた礼拝共同体としての一つの体になぞらえられています。
- それと同時に、その地域教会が肢体となって「ひとつとなり」公同の普遍的教会(見えない教会)を作ることでキリストにあっていうひとつの教会と現実に見なされています。
- それぞれの地域教会には真に内的に新生の体験がなく、普遍的教会に属さない人がいる可能性をこれは示唆しています。物事を聖書を基準にせず人間的な基準で判断するときに、これが教会の問題として地域教会に現れて来ます。
- それゆえに、私たちはこの記念すべき年に、教会が慣習や伝統によって人間的な運営がされていないかを立ち止まって顧みる必要があります。「この天地は滅びます。しかし、わたしのことは決して滅びることはありません」と宣言されている聖書のことはを基準としての識別の必要です。
- すなわち、互いに地域教会が協力して神の栄光を第一とする普遍的教会を構成している成員として「聖さ」を求め、「キリストにあって一つ」を目指して行きたいと思います。

先月の多くの恵みから

- ① 8/29に東京の星野悦子さんよりバザー用品として、3月に引き続き未使用の食器・コーヒーセット・衣類・手芸材料・毛糸・台所用品・CD・バスタオル・タオル・花瓶・小間物入れ・バッグなど大きな段ボール2個分、また近所の大江さんから若者用にTシャツ・外套・スポーツシャツなど1箱分を献品頂きました。最も有効な支援を検討中です。
- ② 8/27に、塩竈BBCの牧師でMMNの責任者の大友幸一師が大内兄と一緒に訪問下さり、活動の情報交換しました。
- ③ 水曜日の祈り会でCGNTVで放映の藤本満師の講解説教と抱き合わせて学んできたキャンベル・モルガンの「十戒」が終わり、新しく「ハイデルベルク信仰問答」の学び

- を開始しました。
- ③ 8月は夏休みで休会していました諸集会の「聖書を読む会」・「楽しい手芸の会」・「ほっとTime」・「コーラス・花」の活動が9月に入り再開されました。
 - ④ 9/3の礼拝に、東北ヘルプ代表の川上直哉師のご両親が出席されお交わりが許され感謝しました。
 - ⑤ 9/7の「宮城三陸3.11東日本大震災追悼記念会準備委員会」の第4回目に出席できました。来年3/10(土)に南三陸のホテル観洋で追悼記念会、3/11(日)は気仙沼・米山町・石巻で記念コンサートを開催することが決まりました。
 - ⑥ 9/9にビッグバンで開催された石巻市主催の「敬老会(77歳以上)」に参加できました。
 - ⑦ 9/16に、その前日夜に恩師の危篤の電話があり、急遽米沢に行って来ました。恩師の見舞いと別の恩師の息子さんと介護施設に入居中の奥様、そして腰の病で長期入院されていたクリスチャンの友人を訪ねることが出来ました。
 - ⑧ 9/17に、Dr.木下夫妻から山梨のブドウ、長野の松田姉より見事なプラムを送って頂きました。
 - ⑨ 9/15にICCの天野兄、9/17にCrash Japanの永井敏夫師、9/20にFFCのCole師ご夫妻が訪問して励ましを下さいました。Cole師から石巻の教会へ子育ての本と先生が書かれた本「2つのドア」を預かり9/21のIMNで各教会にお渡ししました。
 - ⑩ 10/1にHoly hope projectの竹下 力師が礼拝の奉仕をして下さいます。継続してのご奉仕に感謝です。
 - ⑪ 18日も献金・献品・手紙・電話・mailでの励まし、そして陰での継続的な祈りで小さな群の活動を支えて頂き感謝します

■ 今月、次の課題を祈っていただければ幸いです。

- ① 自宅で療養中の大平姉の戦いのために祈り支えて下さい。
- ② 長野県佐久市で奉仕されて来た濱 道子姉の回復のために。
- ③ Dean師の10/18までのアメリカでの訪問報告旅行のために。
- ④ 今野さんが続けて礼拝に参加されています。ガンの転移がありますので心身共に守られますようにお祈り下さい。

群の定期集会	
・礼拝(毎週日曜日)	10:00-11:30
・祈り会(毎週水曜日)	10:00-11:30
・聖書を読む会(第1火曜日)	10:30-12:00
・ほっと・Time(第3火曜日)	10:30-12:00
・コーラス「花」(第2,4木曜日)	13:30-15:00
・楽しい手芸(第2,4月曜日)	10:00-12:00
・学習支援(地域の子ども要望に応じて)	

信仰を詠う

10月 戦争を知っていますか

人間を壊す兵器をつくるのは
人間ですしかね 聡と違いなく

「核」落し為政者満面笑み湛う
とぐる巻く闇 灯りよ切に

戦争が起こってももう逃げないと
決めても動悸ミサイル発射



阿部 八重子
第三次戦争が、と動揺する様な情勢の今日。いやがうえにも戦時の日本と重なり胸がつぶされる。聖い灯りが欲しいです。

